

令和7年11月28日

保護者の皆様

札幌市立北光小学校
校長 橋本 隆

令和7年度 全国学力・学習状況調査の概要について

向寒の候、保護者の皆様におかれましては、日々御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年4月に6年生を対象に表記の調査が実施されました。つきましては、本校の調査結果の概要をお知らせいたします。なお、本調査は6年生児童にのみ実施されたものですが、課題については学校全体で捉え、授業改善に生かして参ります。今後とも皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

【全国の平均正答率と比較して、以下の基準でお伝えしています】

- ・ +3.1ポイント以上 ⇒ 「上回っている」
- ・ +1.0～3.0ポイント ⇒ 「同程度であるが、やや上回っている」
- ・ -0.9～+0.9ポイント ⇒ 「ほぼ同程度である」
- ・ -1.0～3.0ポイント ⇒ 「同程度であるが、やや下回っている」
- ・ -3.1ポイント以下 ⇒ 「下回っている」

◇教科（国語・算数）に関する調査の結果の概要及び改善の方向について

教科	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
国語	【言葉の特徴や使い方に関する事項】 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 【情報の扱い方に関する事項】 ・ 全国平均を下回っている。 ▶1 【我が国の言語文化に関する事項】 ・ 全国平均を上回っている。 【話すこと・聞くこと】 ・ 全国平均を上回っている。 【書くこと】 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 ▶2 【読むこと】 ・ 全国平均を上回っている。	▶1（課題）情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ▶2（課題）目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	◆1（改善の方向）図や線を使って情報同士の関係を整理し、自分の考えを明確にする学習活動を取り入れるなど、目的に応じて語句を図示し、話し合いや調べた内容を整理する力を育て、表現の質を高められるよう支援する。 ◆2（改善の方向）図表やグラフを用いて事実や理由を整理し、伝えたいことを分かりやすくする学習活動を取り入れるなど、図を使う効果を比較しながら理解させ、内容に応じて適切な図表を選び、文章との関係を意識して表現できるように支援する。

教科	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
算数	【数と計算】 ・全国平均を上回っている。▶1 【図形】 ・全国平均を上回っている。▶2 【変化と関係】 ・全国平均を上回っている。 【データの活用】 ・全国平均を上回っている。	▶1（課題）数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えること。 ▶2（課題）角の大きさについての理解。	◆1（改善の方向）数直線の目盛りを分数で表し、0～1の等分の仕方に着目して単位分数を捉える学習活動を取り入れるなど、目盛りを単位分数のいくつ分かで考える活動を通して、分数の意味や大きさの理解を深められるよう支援する。 ◆（改善の方向）三角定規の重ね比べや辺を延長する活動を通して、角の本質を理解し、分度器で正しく測る学習活動を取り入れるなど、角の大きさを「辺の開き具合」として捉え、辺の長さに左右されずに比較できるように支援する。
理科	【エネルギーを柱とする領域】 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。▶1 【粒子を柱とする領域】 ・全国平均を上回っている。 【生命を柱とする領域】 ・全国平均を下回っている。▶2 ▶3 【地球を柱とする領域】 ・全国平均を上回っている。	▶1（課題）電磁石の強さは巻数によって変わることについての知識。 ▶2（課題）顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能。 ▶3（課題）種子の発芽の条件について、採点や共通点をもとに、新たな問題を見だし、表現すること。	◆1（改善の方向）観察や実験の結果を図や言葉で整理し、条件と現象を区別して説明する学習活動を取り入れるなど、見て気付いたことを言語化し、知識と結び付けて理解を深められるように支援する。 ◆2（改善の方向）顕微鏡などを繰り返し操作する学習活動を取り入れるなど、観察・実験で必要な操作の意味を理解し、正確な技能を身に付けられるように支援する。 ◆3（改善の方向）観察・実験結果を比較し、差異点や共通点に着目して新たな問題を見出すような学習活動を取り入れることで、観察・実験から得た事実に基づいて新たな問題を見出すことができるように支援する。

◇生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果について

【注目すべき質問項目】 %は、肯定的な回答をした本校児童の割合です。（ ）内は全国平均です。

○学校の授業時間以外に普段（月～金）、1日あたり1時間以上読書をする（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。**25.9%**（15.2%）

○PC・タブレットなどICT機器を使って情報を整理したり**87.0%**（69.3%）、自分の考えや意見をわかりやすく伝えたり**90.7%**（77.6%）、友達と考えを共有したり比べやすくしたりできる**94.4%**（84.6%）。

○課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。**88.9%**（80.2%）

○英語の授業の内容はよく分かる。**90.4%**（78.3%）

▲友達関係に満足している。**85.2%**（91.7%）

▲学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。**74.0%**（79.0%）

質問全般において、肯定的な回答の割合が高い傾向が見られました。特に、ICTを活用して情報を整理したり、自分の考えを分かりやすく表現したり、友達とかかわりながら学ぶといった学習に関する項目で全国平均を大きく上回っており、子どもたちが主体的に学び、協働的に取り組む姿が育っていることが伺えます。また、読書習慣についても全国と比較して高い割合を示しています。

一方で、友達関係の満足度や、学習した内容を振り返って次につなげる力については、全国平均を下回る傾向が見られました。今後も、安心して学び合える学級づくりをさらに進めるとともに、学習の振り返りを次に繋げられるような授業づくりや学習支援を継続していきます。